

法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

能楽研究所彙報(二〇〇九年四月～二〇一〇年三月)

著者	野上記念法政大学 能楽研究所
出版者	法政大学能楽研究所
雑誌名	能楽研究
巻	35
ページ	147-163
発行年	2011-03
URL	http://hdl.handle.net/10114/7671

能 楽 研 究 所 彙 報 (二〇〇九年四月～二〇一〇年三月)

〔紀要〕『能楽研究』第三十四号の発行

2010年3月31日付で、研究所紀要『能楽研究』第34号を発行した。A5版244頁。内容は次の通り。

真嶋宴庵伝追考——『実鑑抄』系伝書編者の実像——

宮本 圭造

勸修寺文書に見る観世小次郎元頼の領地安堵

——観世新九郎家文庫蔵織田信長朱印状に至るまでとその後——

江口 文恵

研究展望(平成18・19年)

表 きよし

小林 健二

高橋 悠介

宮本 圭造

伊海 孝充

江口 文恵

山中 玲子

橋本 朝生

玉村 恭

竹内 晶子

能界展望(平成20年)

中司由起子

能楽研究所彙報(平成20年度)

能楽型付の記述ルールの研究(1)

山中 玲子

『触流し御能組』の演者名総覧と索引(四)演能記録調査研究グループ編(代表 表 章)

〔第三十一回観世寿夫記念法政大学能楽賞〕

第三十一回観世寿夫記念法政大学能楽賞の受賞者に、2009年12月3日に開かれた選考委員会(委員は、野村萬・松本雍・みなもとこうろう・西野春雄・徳安彰(法政大学常務理事)・坂本勝・山中玲子)の推薦に基づいて表章氏と宝生欣哉氏の2名が選ばれ、12月7日付で増田壽男総長名義の通知を各方面に発送した。贈呈理由と受賞者の経歴は次の通りである。

〔受賞者〕表 章(おもて あきら)氏

〔贈呈理由〕氏は50年以上にわたり能楽研究を牽引し、常に新たな問題提起と発見をおこなってきた。その研究意欲は80歳を越えてなお衰えを見せず、近著『観世流史参究』におい

でも最先端の研究成果を問うている。能楽研究が学問分野として確固たる位置を占めることになったのも、氏の活躍に負うところが大きい。

〔主な経歴〕 法政大学名誉教授。1927年4月26日生まれ。北海道稚内市出身。51年3月、東京文理大学(国語国文学専攻)卒業。同年9月、法政大学能楽研究室助手。翌52年4月、野上記念法政大学能楽研究所発足に伴い同研究所助手となる。56年に所員への昇格と同時に文学部専任講師となり、62年に助教授、66年に教授、86年より文学部長・能楽研究所所長を兼務)。88年、文学部付置から独立した能楽研究所の所長となる。98年3月の退職まで常に研究所の活動の中心であり続けるとともに、全国の能楽資料の調査に取り組み、後に、般若窟文庫(宝山寺)、鴻山文庫、観世新九郎家文庫(服部家などが法政大学や能楽研究所に寄贈される下地を作った。80歳を越えた今も著述や講演に最前線の研究者として活動し続けている。国立能楽堂専門委員、財団法人観世文庫常務理事、能楽学会初代代表を歴任。主な著書に、古典文学大系『謡曲集(上・下)』(共著、60、62年)、『鴻山文庫本の研究』(65年)、『金春古伝書集成』(共著、69年)、思想大系『世阿弥・禅竹』(共著、74年)、『喜多流の成立と展開』(94年)、『大和猿楽史参究』(05年)、『観世流史参究』(08年)がある。95年に角川源義賞、05年に瑞宝中綬章を受章。

〔受賞者〕 宝生 欣哉(ほうしょう きんや)氏

〔贈呈理由〕 能楽脇方として研鑽を積み、斯界では「若手」といわれる年代ながら、重要な舞台になくはならぬ存在である。言葉の明晰さや力強さにはかねて定評があったが、近年は技術的に成熟し、脇の自分を守りつつも役の性根を十分に理解した的確な演技によって、〈檜垣〉(姨捨)等の大曲をはじめ数々の充実した舞台成果を挙げている。

〔主な経歴〕 脇方下掛宝生流。1967年5月21日、宝生團の長男として東京都に生まれる。3歳の頃から父及び祖父宝生弥一について稽古を始める。初舞台は8歳で、〈狸々乱〉(シテ観世寿夫)。89年、梅若会別会で〈張良〉を、92年、響の会で〈道成寺〉を披く。その後、94年に〈大原御幸〉、99年に〈京都婆小町〉と次々に大曲を披き、00年には梅若会別会・宝生会別会の〈道成寺〉により芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。野村万之丞主催の「大田楽」に初回から参加するほか、〈鷹姫〉(望恨歌)〈晶子みだれ髪〉(花供養)など、新作能の上演にも積極的に参画している。海外公演にも多数参加し、アメリカ・ドイツ・イタリア・ベルギー・ロシア・中国などを訪れている。

なお贈呈式は、次に記す催花賞とあわせて、2010年1月13日(水)午後6時半から、グランドプリンスホテル赤坂で開かれた。受賞者をはじめ、選考委員、法政大学関係者、能楽関係者ら80余名の出席のもとに、増田壽男総長から賞状と賞金(各30万円)が贈られ、レセプションに移って歓談の後、午

後8時半過ぎに散会した。

〔第二十回催花賞〕

〔受賞者〕 榎藤 芳一（こんどう よしかず）氏

〔贈呈理由〕 氏は長年にわたって京都観世会館の事務局長を務め、能の公演の現場に携わるとともに、能をはじめとする古典芸能全般の評論と普及に大きな役割を果たしてきた。東京偏重の能楽界にあつて、関西における能狂言の公演についての情報発信を一貫して続けてきた功績は大きく、その成果をまとめた近著『戦後関西能楽誌』は、戦後の関西能楽界の動向についての貴重な報告である。

〔主な経歴〕 古典芸能評論家。1930（昭和5）年生。同志社大学文学部英文学科卒業。笛方森田流の杉市太郎について笛の稽古を行うなど、幼少の頃から古典芸能に親しみ、大学卒業後は、東京や大阪を中心に演劇雑誌の編集や武智鉄二の演出助手などを手がける。58年、京都観世会館の開館とともに同館の事務局に入り、89年に退職するまで31年間にわたって、演能の企画をはじめ、観世会館の運営に全般的に携わる。同館の会誌である月刊『能』の編集を行い、自ら健筆をふるうとともに、能・歌舞伎・浄瑠璃の古典芸能全般に関する啓蒙書や評論を多数執筆。その幅広い活躍により、78年に京都芸術奨励賞を受賞。能に関する代表的な著作に、『能を生きる歴史群像』（72年、淡交社）、『世阿弥を歩く』（白洲正子と共著、78年、駸々堂出版）、『能楽手帖』（79年、駸々堂出版）、

『戦後関西能楽誌』（09年、和泉書院）がある。90年から00年まで大阪学院大学国際学部助教授。京都府文化財保護審議会委員、京都市文化財保護審議会委員を歴任し、92年には文化庁地域文化功労者の表彰を受ける。

〔研究・調査活動〕

型付資料の全国的調査

文部科学省科学研究費補助金（基盤B）「能楽「型付」の全国的調査と、技芸伝承におけるその役割についての総合的研究」（平成21～24年度。研究代表者山中玲子）に基づく研究プロジェクト。能の技芸伝承の核となる型付資料の現存状況を調査した上で資料収集及びその分析を行う。本年度は盛岡市中央公民館、龍谷大学大宮図書館所蔵資料の調査を行ったほか、既に収集済みの資料の調査・整理作業を進めている。

型付の記述ルール解明のための、文理融合研究

文部科学省科学研究費補助金（萌芽研究）「SDGs所作データベースに基づく能の「型付」資料未記述部分の解明」（平成21～23年度。研究代表者山中玲子）および、異分野融合による方法的革新をめざした人文・社会学研究推進事業「工学的知見の活用による能楽「型付」の記述ルール及び技芸伝承システムの解明」（平成21～24年度。同右）に基づく文理融合の研究プロジェクト。文系・理系の研究者と院生が集まって前年度に開始した「所作学研究会」の活動から生まれた新し

い研究だが、研究費を得たことで本格的に活動を開始した。本研究では、①能の所作単元をEDCの映像として提示できるようなデータベースを作成し、②型付に記述された一連の所作単元をデータベースから順番に引用して能の演技を自動的に再現できるような演技合成ツールを試作する。③その過程で失敗例の分析や、○の映像を引用して並べた動きと、能役者の動きの比較等を通し、型付に記されない暗黙知の部分の解明をめざす。本年度は所作単元の撮影がほぼ終了し、演技合成ツールの基本部分の試作を終えた。

若手研究会

今年度から学内外の若手研究者を主体とする研究会を始めることにした。能楽研究の将来を担う人材の育成を目的とするもので、法政大学の大学院生や能楽研究所の若手所員はもとより、東京大学・早稲田大学ほかの大学院生、学外の気鋭の若手研究者にも参加を呼びかけて、ほぼ毎月研究発表を行って、互いに切磋琢磨している。参加者は毎回十数名。各回の発表者と題目は以下の通りである。

第1回 7月17日

勸修寺文書所収観世小次郎元頼関連文書三点について

江口 文恵

円満井座と大蔵大夫

宮本 圭造

第2回 10月2日

宝暦五年奥書「仕舞付」の紹介と考察

井上 愛

第3回 10月13日

禅竹能楽論の「一露」「一水」小考

高橋 悠介

第4回 11月24日

近世「徒然草」研究と謡曲の接点

―番外曲(白うるり)の場合―

伊海 孝允

第5回 12月21日

「序破急」試論

玉村 恭

第6回 2月1日

観世元章の復古主義について

中尾 薫

第7回 3月1日

〈道成寺〉乱拍子をめぐる金春家と幸家

―安住関係資料を中心に―

深澤 希望

『鴻山文庫蔵能楽資料解題 下』の作成について

故江島伊兵衛氏の御遺族から寄贈された「鴻山文庫」の解題作成は、能楽研究所の重要な業務の一つでありながら、諸事情により大幅に遅れている。膨大な量になった情報を一冊にまとめるか否か、索引の扱い等、方針を確定し、遅くとも60周年には刊行できるよう鋭意作業中である。

〔教育・普及活動〕

能楽研究所貴重資料電子画像集の拡充

今年度の重点事業により、従来公開中の資料に加えて、伝観世小次郎信光筆謡本、車屋謡本、金春禅鳳自筆謡本、『明

宿集」ほかの金春禪竹伝書、『毛端私珍抄』ほかの金春禪鳳伝書、古活字版『謡抄』、『永禄十一年十月二十四日付、観世小次郎あて信長朱印状』をはじめとする、94点、計383冊の能楽貴重資料を電子画像化し、新たに公開した。

表章名誉教授特別講義の編集

前年度に法政大学情報技術（IT）センターの協力を得ておこなった、表章氏（法政大学名誉教授、能楽研究所前所長）の特別講義「表章が語る能楽研究の百年」（全3回。会場：法政大学九段校舎遠隔講義室）のうち、第2回「能楽史研究」（2008年2月28日収録）、第3回「謡曲・狂言研究」（同3月27日収録）分のDVD（保存用）が完成した。前年度に完成した第1回の分と併せ、現在、公開に向けて、参考画像の挿入やテロップによる補足説明等の編集作業をおこなっている。

第14回法政大学能楽セミナー

第14回を迎えた能楽セミナーは、2009年10月5日（日）（うち5日間）、ボアソナード・タワー26階スカイホールにおいて午後2時から一講義120分の形で開催された。テーマは「弘化勸進能絵巻の世界―江戸時代の都市と能楽―」。5日間の題目と講師は次の通りである。

1 「弘化勸進能絵巻」が描くもの―江戸の勸進能に集う人びと―
宮本圭造（法政大学能楽研究所准教授）

2 勸進能の舞台の上―人々はどうな能を観たのか―

山中玲子（法政大学能楽研究所教授）

3 棧敷と盛り場の食文化―アジアの中の江戸食文化―

原田信男（国士館大学21世紀アジア学部教授）

4 劇場の宇宙―建築から見た弘化勸進能とアジアの戯台―

高村雅彦（法政大学デザイン工学部教授）

5 江戸の勸進能―その歴史と変遷―

表章（法政大学名誉教授）

エクステンションカレッジ「新・能楽講座」

2004年度から新シリーズを開始したエクステンションカレッジの能楽講座の第6回。本年度の講座名は「新・能楽講座VI―〈安宅〉徹底分析―」（5日間5講座）。〈安宅〉一曲をとりあげ、初回で概説の後、素材となった中世の義経伝承、〈安宅〉がその後の近世芸能に与えた影響、演出の特徴や演者の心持ちについての対談、作者や能楽史上の位置づけなど、様々な角度から〈安宅〉について考えた。5日間の内容と講師は次の通りである。

第1回 能〈安宅〉の詞章精読 中司由起子

第2回 演出と演者の工夫 殿田謙吉・山中玲子

第3回 中世の義経伝承 小秋元段

第4回 近世芸能への影響 伊海孝充・宮本圭造

第5回 〈安宅〉の作者と歴史上の問題 表章

文化デジタルライブラリー「葵上・隅田川」の監修

日本芸術文化振興会ウェブサイトにある「文化デジタルライブラリー・舞台芸術教材2・葵上・隅田川」の監修と原稿執筆をおこなった。メンバーは以下の通り。

山中玲子・宮本圭造・伊海孝充・高橋悠介・玉村恭・中司由起子・江口文恵・柳瀬千穂・深澤希望の計9名。

〔面・資料の受贈〕

小熊正氏より、氏が長年にわたって打たれた能狂言面40面の寄贈を受けた。学生の指導や能研が主催する様々なワークショップ、能面の3D画像撮影の研究などに、幅広く活用させていただいている。小熊氏のご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

また、小林健二氏より、鴻山文庫旧蔵『観世座仕手連小春山三郎家記録』『元禄十五年観世大夫北野七本松勧進能留』『宝生将監父子口伝之書』『喜多流手附』、以上4点の能楽資料の寄贈を受けた。鴻山文庫より法政大学へ寄贈された分からは漏れていたもので、離ればなれの資料がここに再び一つになったことは喜びにたえない。小林氏のご芳志に対し厚く御礼申し上げる。

〔所員の活動〕

山中 玲子

「翻訳不可能なもの」と翻訳しなくてもよいもの 能―引用の

タペストリーの翻訳

国際日本学研究叢書10『翻訳の不可能性』 22年2月

《翻訳》「グローバル化された世界における「翻訳文化」―現代日本における翻訳をめぐる諸問題」イルメラ・日地谷Ⅱ
キルシュネライト著 同右 22年2月

「能楽型付の記述ルールの研究(1)」『能楽研究』34号

「研究展望(平成18・19年)」(作品研究、演出研究・技法研究) 22年3月

《ウェブサイト》「文化デジタルライブラリー舞台芸術教材 能楽編その二」監修 21年4月公開

「講演・口頭発表」

「能と西欧の身体芸術―新たな視点獲得に向けての共同研究」所作学研究会ミニシンポジウム 21年5月

「勧進能の舞台の上―人々はどんな能を観たのか―」第14回法政大学能楽セミナー 21年10月

宮本 圭造

「続・江戸時代能楽繁盛記」『観世』 21年4月〜21年12月

「貞享五年の竹本義太夫」

『演劇研究会会報』35号 21年6月
『芸能史料としての藩政記録』
『芸能史研究』186 21年7月

「田楽座の稚児と老分」『国文学解釈と鑑賞』42号 21年10月

「観世文庫の文書7」「父尉・延命冠者につき覚書」

「観世」 21年10月

「だんじり遡源―祇園の会にも「たんちり」ぞ舞ふ―」

「祇園囃子の源流」(岩田書院) 22年3月

「大坂商人の演能活動」

「演劇学論叢」11 22年3月

「真嶋宴庵伝追考―「実鑑抄」系伝書の実像―」

「能楽研究」34号 22年3月

「研究展望(平成18・19年)」(能楽史研究)

「能楽研究」34号 22年3月

「講演・研究発表」

「姫路市の能楽史」 姫路市立城郭研究室市民セミナー

「弘化勸進能絵巻」が描くもの―江戸の勸進能に集う人々―

第14回法政大学能楽セミナー 21年10月

「能の劇場における杖敷と舞台」

演劇舞台構造の国際比較研究集会 早稲田大学 21年12月

表 きよし

「江戸時代の庶民と能楽」 「能と狂言」 7号 21年4月

「研究展望(平成18年・平成19年)」(単行本)

「能楽研究」34号 22年3月

橋本 朝生

「研究発表要旨」大蔵清虎上演年譜考」

「能と狂言」 8号 21年4月

「観世文庫の文書6」「茂山忠三郎良豊筆「居杭」居杭拔書」

「観世」 21年9月

「狂言の当代性―(唐相撲)を読み解く」

「国文学解釈と鑑賞」 42号 21年10月

「研究展望(平成18・19年)」(狂言研究)

「能楽研究」34号 22年3月

「講演」

「狂言の笑い―室町人は何を笑ったのか」

日本笑い学会関東支部第156回研究会 台東区民会館 21年10月

小林 健二

「能の中の芸能者」『国立能楽堂』310号 21年6月

「織田信長と幸若舞曲「敦盛」」『国文学解釈と鑑賞』74巻10号 21年10月

「幸若舞―室町後期に流行した語り物芸能」『国立能楽堂』315号 21年11月

「国學院大學図書館所蔵『義経奥州落絵詞』の方法」『物語

絵の世界』平成21年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果 22年3月

「『百万』絵巻出現の意義―能楽研究の視点から―」国立能

楽堂編『百万絵巻』 22年3月

「国學院大學図書館蔵『義経奥州落絵詞』書誌・解題・翻刻」

『物語絵巻の本文とその享受に関する総合的研究―國學院

大學所蔵本を中心として』平成21年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書 22年3月

『百鬼夜行絵巻』の滑稽性—お歯黒お化けと角三の鬼— 22年3月

日本文学国際共同研究集会報告書『日本の〈笑い〉—文学・芸能・絵画の表現様式を基点に—』 22年3月

江口 文恵

『作品研究(藤戸)』『観世』 22年3月

『観世小次郎元頼の領地安堵—観世新九郎家文庫蔵織田信長朱印状以前とその後—』『能楽研究』 34号 22年3月

『研究展望(平成18・19年)』(作品研究)『能楽研究』 34号 22年3月

『ウェブサイト』『文化デジタルライブラリー舞台芸術教材 能楽編その二』『能・狂言の歴史』執筆 21年4月公開

中司 由起子

『国立能楽堂蔵「狂言台本・問本ほか能狂言関係書」目録』

日本芸術文化振興会『国立能楽堂調査研究』 4号 22年3月

金春会定期能『番組解説』執筆 21年4月〜22年3月

『能界展望』(平成20年)『能楽研究』 34号 22年3月

『ウェブサイト』『文化デジタルライブラリー舞台芸術教材 能楽編その二』『狂言の演目と鑑賞』執筆 21年4月公開

玉村 恭

“Reclusion and Poetry: Reconsidering Kano no Chomei's Hōjōki and Hoshinshu.” AESTHETICS, The Japanese Society for Aesthetics, No. 13, 21年4月

『世阿弥能楽論研究のあゆみ—その表と裏—』

『観世』 21年6月

『「忠度」の花—修羅能における生と死Ⅱ—』

『死生学研究』 12号 21年10月

『研究展望(平成18・19年)』(その他、外国語による能楽研究)『能楽研究』 34号 22年3月

『ウェブサイト』『文化デジタルライブラリー舞台芸術教材 能楽編その二』『狂言はやわかり』『小学生のための能楽入門』執筆 21年4月公開

『口頭発表』

『芸道思想の可能性—仕舞が「できるようになる」とはどういうことか—』日本音楽教育学会第25回北陸地区例会

上越教育大学 22年2月

『蔵書の出品・掲載』

① 檜書店発行月刊『観世』平成21年5月号に『宝生大夫一代勧進能之巻』を、平成21年9月号に『貞享・宝永間能役者召出姓名』を、平成21年10月号に『阿部正福旧蔵 中条祐山節付本』、『將軍宣下御能目録』、『元和卯月本安宅』奥付部分を、平成22年3月号に『細川十部伝書』より『妙佐

- 本慶長型付」の掲載を、それぞれ許可した。
- ② 講談社発行講談社学術文庫『室町人の精神』桜井英治著に、「六輪一露記」より「寿輪」ほか計7点の掲載を許可した。
- ③ 角川学芸出版発行『風姿花伝・三道現代語訳付き』竹本幹夫訳注に、「二曲三体人形図」より「女舞」ほか計7点の掲載を許可した。
- ④ 桂書房発行『富山藩の能楽』胡桃正則著に、宝生流謡本『天保十五年正月本(富山版)』より、「簾」および奥付部分の掲載を許可した。
- ⑤ 東京大学出版会発行『世阿弥の稽古哲学』西平直著に、「二曲三体人形図」より「童舞」「老体」の掲載を許可した。
- ⑥ 新潮社発行『芸術新潮』平成22年1月号に、「光悦謡本(上製本)」より「俊寛」表紙部分の掲載を許可した。
- ⑦ マガジンハウス社発行『BRUTUS』673号に、「光悦謡本(色替り異装本)」より「大原御幸」、「光悦謡本(上製本)」より「自然居士」ほか計5点の掲載をそれぞれ許可した。
- ⑧ ビエ社発行ビエ・ブックス『能 改訂版』高岡一弥・高橋陸郎・森田拾史郎著に、「二曲三体人形図」より「天女舞」ほか計9点の掲載を許可した。
- ⑨ 檜書店発行『能のノリと地拍子 リズムの民族音楽学』藤田隆則著に、「二曲三体人形図」より「天女舞」の掲載を許可した。
- ⑩ 日本音楽学会発行『音楽学』第55巻1号(2009)に、「唱曲弁疑」および「観世流当流小謳語入百番」の掲載を許可した。
- ⑪ 楽劇学会発行『楽劇学』第17号に、「番外曲舞・語り 七十一番」の掲載を許可した。
- ⑫ 大阪大学出版会発行『能苑遺通(下) 能の歴史を歩く』天野文雄著に、「観世一代能之躰」および『日爪忠兵衛正宗手沢本』の掲載を許可した。
- ⑬ 宝生会発行『宝生』2010年3・4月号に、『宝生流謡本(寛政版)』より「砧」および「弱法師」の掲載を許可した。
- ⑭ 平凡社発行『俵屋宗達 琳派の祖の真実』(平凡社新書)古田亮著に、「光悦謡本」より「桜河」表紙の掲載を許可した。
- ⑮ NHK出版発行『日本の伝統芸能』(NHK教育テレビ「日本の伝統芸能」テキスト)に、「明宿集」の掲載を許可した。
- ⑯ 笠間書院発行『能と古注釈書』神田裕子著に、「童舞抄」の巻首などの掲載を許可した。
- ⑰ 朝日新聞出版発行『時代を生きた女たち―新・日本女性通史』(朝日選書)総合女性史研究会編に、「二曲三体人形図」より「女体」「女舞」「軍体」の掲載を許可した。
- ⑱ 日本経済新聞社発行『日本経済新聞』2009年9月20日付朝刊の「美の美」面に「二曲三体人形図」より「女舞」ほか計4点を、2010年2月25日付夕刊の「入門講

座「能楽の楽しみ方」③に「勸進能興行場所略図」の掲載を、それぞれ許可した。

⑭ 富士市立博物館第48回企画展『富士山縁起の世界―赫夜姫・愛鷹・犬飼―』（富士市立博物館…2009年3月13日～5月16日）に、『富士山』『生贄』『富士山仕舞付』『富士山子方仕舞付』の貸出ならびに図録への掲載を許可した。

〔雑報〕

◇坂本勝氏が所長に就任

西野春雄氏（所長）の退職に伴い、後任に坂本勝氏（文学部教授）が、2009年4月1日付で所長に就任した。

◇宮本圭造氏が専任所員に就任

宮本圭造氏（兼任所員・大阪学院大学准教授）が、2009年4月1日付で専任所員に就任した。

◇永野秀雄氏が兼任所員に就任

永野秀雄氏（人間環境学部教授）が、2009年4月1日付で兼任所員に就任した。

◇伊海孝充氏が兼任所員に就任

伊海孝充氏（文学部専任講師）が、2009年4月1日付で兼任所員に就任した。

◇中司由起子氏が兼任所員に就任

中司由起子氏が、2009年4月1日付で兼任所員に就任した。

◇江口文恵氏が兼任所員に就任

江口文恵氏が、2009年4月1日付で兼任所員に就任した。

◇玉村恭氏が兼任所員に就任

玉村恭氏（特別研究員）が、2009年4月1日付で兼任所員に就任した。

◇マイケル・ワトソン氏が兼任所員を退任

マイケル・ワトソン（明治学院大学教授）氏が、2009年3月31日付で兼任所員を退任した。

◇高橋悠介氏が兼任所員を退任

高橋悠介氏（日本学術振興会特別研究員）が、2009年3月31日付で兼任所員を退任した。

◇外国人客員研究員の受入

独立行政法人日本学術振興会の平成21年度外国人特別研究員（欧米短期）として、ボストン大学英語学科専任講師のプレストン・キャリー・ジョーン氏を受け入れた受入期間…2009年4月15日～6月14日）。氏の研究課題は「能と西欧の身体芸術―新たな視点獲得に向けての共同研究」

◇臨時職員（夜間閲覧業務）の退職・採用

2008年度で渡部真理子氏が退職し、後任に2009年4月1日付で東條沙織氏を採用した。東條氏は木曜日、2007年度に採用した周重雷氏が引き続き火曜日に勤務することとなった。

〔2009年度の所員名と関連委員名〕

◎所員

157 能楽研究所彙報

所 長	坂本 勝	委員 兼担所員	ステイヴン・ネルソン
専任所員 教授	山中 玲子	委員 兼担所員	伊海 孝充
専任所員 准教授	宮本 圭造	委員 兼担所員	鈴木 靖
兼担所員 文学部教授	堀江 拓充	委員 兼担所員	竹内 晶子
兼担所員 文学部准教授	小秋元 段	委員 兼担所員	永野 秀雄
兼担所員 文学部教授	ステイヴン・ネルソン	委員 兼担所員	田中 豊
兼担所員 文学部専任講師	伊海 孝充	◎法政大学能楽振興基金委員	表 きよし
兼担所員 国際文化学部教授	鈴木 靖	委員長 常務理事(法人本部担当・国際学術支援本部担当)	橋本 朝生
兼担所員 国際文化学部准教授	竹内 晶子	委員 武蔵野大学名誉教授	小林 健二
兼担所員 人間環境学部教授	永野 秀雄	委員 写真家	中司由起子
兼担所員 デザイン工学部教授	田中 豊	委員 法政大学名誉教授	江口 文恵
兼任所員 国士館大学教授	表 きよし	委員 能楽研究所専任所員	玉村 恭
兼任所員 山梨大学教授	橋本 朝生	委員 能楽研究所専任所員	野口 明美
兼任所員 国文学研究資料館教授	小林 健二	委員 能楽研究所専任所員	坂本 勝
兼任所員	中司由起子	委員 能楽研究所専任所員	山中 玲子
兼任所員	江口 文恵	◎法政大学能楽賞委員	宮本 圭造
兼任所員	玉村 恭	委員長 常務理事(法人本部担当・国際学術支援本部担当)	堀江 拓充
事務	野口 明美	委員 能楽研究所所長	小秋元 段
◎運営委員	坂本 勝	委員 能楽研究所所員	
議長 所 長	山中 玲子	委員 能楽研究所専任所員	
委員 専任所員	宮本 圭造	◎法政大学能楽賞選考委員	
委員 兼担所員	堀江 拓充	委員長 常務理事(法人本部担当・国際学術支援本部担当)	
委員 兼担所員	小秋元 段	委員 能楽研究所所員	徳安 彰

委員	狂言方和泉流	野村	萬
委員	能楽評論家	松本	雍
委員	演劇評論家	みなもと	ごろう
委員	法政大学名誉教授	西野	春雄
委員	能楽研究所所長	坂本	勝
委員	能楽研究所専任所員	山中	玲子

〔受贈図書〕

☆単行本〔受人順。＊印は寄贈者。書名・著者・発行年・発行者の順。著者および編者が発行している場合は、発行者は省略。〕

『大名庭園の利用の研究—岡山後楽園と藩主の利用』

＊神原邦男著 平15 吉備人出版

『THEATRE YEAR-BOOK 2009 Theatre in Japan』

平21 ＊国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター

『THEATRE YEAR-BOOK 2009 Theatre Abroad 諸外国の演劇事情』

平21 ＊国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター

『能の集積回路』 堀江謙著 平21 たちばな出版

『ギリシャ劇と能の再生』 廣木一人ほか 平21 水声社

『中国人の日本研究—相互理解のための思索と実践—国際日本学研究叢書9』 法政大学国際日本学研究所編

平22 ＊法政大学国際日本学研究センター

『翁 第百回素謡会記念誌』 ＊鈴木義夫 平21 白河謡曲会

『駒澤大学禅文化歴史博物館 常設展示解説書—禅の世界—』

＊駒澤大学禅文化歴史博物館編 平21

『復元 江戸時代のきもの いまとむかしの職人技』

＊関西学院大学博物館開設準備室編 平21

『柳川文化資料集成第5集柳川の漢詩文集』

柳川市史編集委員会編 平21 ＊柳川市

『近代国家と能楽堂』

奥富利幸著 平21 ＊大学教育出版

『柳川古文書館資料目録第19集 収集諸家文書目録V』

平21 ＊柳川古文書館

『芸三代 心を種として』

＊関根祥六・広瀬飛一著 平21 小学館スクエア

『柳川市史資料編VI 山門郡行政・上』

柳川市史編集委員会編 平21 ＊柳川市

『戦に関わる文字文化と文物の総合的研究』

遠山一郎(代表)著 平21 ＊愛知県立大学文学部

『能楽演出の歴史的研究』 ＊岩崎雅彦著 平21 三弥井書店

『すぐわかる人物・ことば別 桃山時代の美術』

奥平俊六監修 平21 東京美術 ＊日本アートセンター

『日本の歴史12室町人の精神』 桜井英治著 平21 ＊講談社

『(財)大和文化財保存会援助事業による寛山寺の版本』

＊築部章三 平13 元興寺文化財研究所

『新蔵生田文庫蔵書目録并解題』 ＊関屋俊彦(代表) 平21

『風姿花伝・三道 現代語訳付き』

- 【古典の精髓】 * 竹本幹夫訳注 平21 角川学芸出版
- 【Wege der Japanologie 日本学展望】 * 林和利編 平21 世界思想社
- * Harald Meyer 編 平20 LIT
- 【世阿弥の稽古哲学】 西平直著 平21 * 東京大学出版会
- 【対訳で楽しむ定家】 三宅晶子著 平22 * 檜書店
- 【対訳で楽しむ桜川】 竹本幹夫著 平22 * 檜書店
- 【対訳で楽しむ花月】 竹本幹夫著 平22 * 檜書店
- 【国立能楽堂平成21年度特別展示 細見コレクション琳琳にみる能】 * 国立能楽堂編 平21 日本芸術文化振興会
- 【観世 平成21年1月～12月号(合本21年版)】 * 檜書店編 平21
- 【能 改訂版】 高橋睦郎ほか 平21 * ビエブックス
- 【南北米能楽紀行】 渡辺三郎著 昭56 渡雲会 * 落合博志
- 【寶生流 素謡の栞 別冊】 昭15 * 落合博志
- 【靖国叢書第一輯 神社と能楽】 三宅謙 述 昭32 靖国神社社務所 * 落合博志
- 【能寿賀多拾遺】 * 草野冴子著 平20 潮流社
- 【能苑逍遙(下) 能の歴史を歩く】 * 天野文雄著 平22 大阪大学出版会
- 【能のノリと地拍子—リズムの民族音楽学—】 * 藤田隆則著 平22 檜書店
- 【笑いを科学する ユーモア・サイエンスへの招待】 木村洋二編 平22 新曜社 * 関谷俊彦
- 【佐賀鍋島の伝世史料からみた「大名面」の制作と蒐集の実態】 * アダム・ゾーリンジャー著 平22 風間書房
- 【百万絵巻】 * 国立能楽堂編 平22 日本芸術文化振興会
- 【NHK日本の伝統芸能】 日本放送協会・* 日本放送出版協会 編 平22
- 【富士山縁起の世界—赫夜姫・愛鷹・犬飼—】 * 富士市立博物館編 平22
- ☆雑誌・紀要など〔特記した以外は発行所からの寄贈誌名・号数・発行年・発行所の順〕
- 〔雑誌など〕
- いずみ通信 No 38 (平21) 和泉書院
- ITINews No 120 (平22) 国際演劇協会日本センター
- 岩瀬文庫だより No 21～24 (平21) 西尾市岩瀬文庫
- 季刊永青文庫 No 67 (平21) 財団法人永青文庫
- おもて 101～103号(平21) 大槻能楽堂
- 観世 76巻5号～77巻4号(平21・22) 檜書店
- 観世九阜会定例会 4月～5月(平21・22) 観世九阜会
- 喜多流職分会自主公演能5月～4月(平21・22) 喜多流職分会
- 喜多流青年能第30回 喜多流職分会
- 橘香 54巻1号～12号(平21) 梅若研能会
- 汲古 55・56号(平21) 汲古書院
- 京都薪能60回(平21) 京都能楽会

- 藝能 15号(平21) 藝能学会
 国際日本文化研究集会会議録32回(平21) 国文学研究資料館
 国文学研究資料館紀要 文学研究編34・35号(平21)
 調査研究報告 29号(平21)
 国立能楽堂308・319号(平21・22) 国文学研究資料館
 国立能楽堂調査研究 vol.3(平21) 日本芸術文化振興会
 金春月報30巻5号・31巻3号(平21・22) 日本芸術文化振興会
 囀り 78・81号(平21・22) 金春月報編集部
 能おもしま草紙 19号(平21) 近松応援団
 紫明 25・26號(平21・22) 喜多流大島能楽堂
 巡礼記研究6集(平21) 紫明の会
 序破急 12号(平21) 巡礼記研究会
 大阪能楽養成会研究発表会第1回・4回(平21・22) 大阪能楽養成会後援会
 総合芸術としての能14号(平21) 大阪能楽養成会後援会
 能楽ジャーナル 53・58号(平21・22) 世阿弥学会
 無形文化遺産研究報告2・3号(平21) たちばな出版
 東京文化財研究所概要2009(平21) 東京文化財研究所
 せんだい市史通信 21・22号(平21・22) 東京文化財研究所
 地方史情報091・095(平21・22) 仙台市博物館市史編さん室
 鏡仙 579・589(平21・22) 岩田書院
 DEN 50号(平21) DEN編集室

- 名古屋芸能文化 19号(平21) 名古屋芸能文化会
 日本研究 40集(平21) 国際日本文化研究センター
 能 612・623号(平21・22) 京都観世会
 能楽タイムズ686・696号(平21・22) 能楽書林
 能楽の友 508・519号(平21・22) 能楽の友社
 能楽連盟報 87・88号(平21) 新潟県能楽連盟
 能スケジュール 576・581号(平21・22) 観世会
 能と狂言 7(平21) 能楽学会
 橋がかり5月・5月(平21・22) 横浜能楽堂
 廣田鑑賞会能 12・13回(平21) 廣田鑑賞会
 宝生 58巻4号・58巻6号、別冊(平21) わんや書店
 宝生1号・2号(平21・22) 宝生会
 KENSYO Vol.73・75(平21・22) セクターエイティエイト
 柳川古文書館史料目録 19集 収集諸家文書目録V(平21) 柳川古文書館
 柳川古文書館年報 9集(平21) 柳川古文書館
 柳川資料集成月報 3月(平21) 柳川市史編集委員会
 大和座通信 101・106号(平21・22) 大和座狂言事務所
 歴史書通信 No.183・188(平21・22) 歴史書懇話会
 金GOLD 黄金の国ジパング(平21) 国立科学博物館・
 毎日新聞社・NHKプロモーション *MOA美術館
 イートン・カレッジ/ダーラム大学所蔵古代エジプトの美展 *MOA美術館
 (平20) 東京新聞 *MOA美術館
 第16回MOA 岡田茂吉賞展(平20) *MOA美術館

BRUTUS 2009年11月1日号(平21)

マガジンハウス

かがみ 特集号 (平21)

大東急記念文庫

芸術新潮2010年1月号 (平22)

新潮社

若葉963号 (平22)

若葉社 *表章

〈大学紀要〉

青山語文 39号(平21)

青山学院大学日本文学会

文学史研究 49号(平21)

大阪市立大学国語国文学研究室文学史研究会

語文92・93輯 (平22)

大阪大学国語国文学会

待兼山論叢 43号(平21)

大阪大学大学院文学研究科

演劇学論叢 10号(平21)

実践女子大学文芸資料研究所

大阪大学大学院文学研究科演劇学研究室

上方文化研究センター研究年報 10号(平21)

大阪府立大学上方文化研究センター

百舌鳥国文 20号(平21)

大阪府立大学日本語国文学会

言語文化学研究 日本語日本文学編 4号(平21)

大阪府立大学人間社会学部言語文化学科

文藝論叢 72・73号(平21)

大谷大学文藝學會

岡大文論稿37号(平21)

岡山大学文学部言語国語国文学会

金沢大学国語国文 34号(平21)

金沢大学国語国文学会

国文学 91・94号(平19・22)

関西大学国文学会

国文論藻 京都女子大学大学院文学研究科研究紀要 8号

(平21) 京都女子大学

女子大國文 145・146号(平21・22)

京都女子大学国文学会

博士学位論文 内容の要旨および審査結果の要旨7号

(平21) 京都女子大学大学院

文林 43号(平21)

神戸松蔭女子学院大学学術研究会

神戸女子大学

古典芸能研究センター紀要 2号(平21)

神戸女子大学古典芸能研究センター

日本文學論究 69冊(平22)

國學院大學國文學會

駒澤國文 46号(平21)

駒澤大学文学部国文学研究室

実践国文学 76・77号(平21・22)

実践国文学会

実践女子大学文学部紀要 51集(平21)

実践女子大学

実践女子大学文芸資料研究所年報 28号(平21)

実践女子大学文芸資料研究所

実践女子大学文芸資料研究所別冊年報 VII(平21)

実践女子大学文芸資料研究所

国文学論集 43(平22)

上智大学国文学会

上智大学国文学科紀要27号(平22) 上智大学文学部国文学科

学苑 831号(平22)

昭和女子大学近代文化研究所

相山国文学 33号(平21)

相山女学院大学国文学会

成蹊國文 42号(平21)

成蹊大学文学部日本文学科

近松研究所紀要20号(平21)

園田学園女子大学近松研究所

中央大學國文 53号(平22)

中央大學國文學會

帝塚山学院大学 日本文学研究 41号(平22)

帝塚山学院大学文学部日本文学会

山邊道 52號(平21)

天理大學國語國文學會

- 同志社国文学 71・72号(平21・22) 同志社大学国文学会
 同朋大学佛教文化研究所紀要 28号(平21) 同朋大学佛教文化研究所
 同朋大学佛教文化研究所報 22号(平21) 同朋大学佛教文化研究所
 文学論藻 84号(平22) 東洋大学文学部日本文学文化学科
 比較文化研究所年報 25号(平20) 徳島文理大学比較文化研究所
 文学論叢 26号(平21) 徳島文理大学文学部文学論叢編集委員会
 國文目白 49号(平22) 日本女子大学国語国文学会
 演劇総合研究 20号(平20) 日本大学芸術学部演劇学科
 演劇創造 38号(平21) 日本大学芸術学部演劇学科
 Performing Arts Studies / 舞台芸術研究 14(平21)
 日本大学大学院芸術学研究科博士前期課程舞台芸術専攻
 日本大学大学院総合社会情報研究科紀要 10号(平22) 日本大学大学院総合社会情報研究科
 二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 39集(平21) 二松学舎大学東アジア学術総合研究所
 二松 23集(平21) 二松学舎大学文学研究科
 二松学舎大学論集52号(平21) 二松学舎大学文学部
 広島女学院大学総合研究所年報 Vol.13(平21) 広島女学院大学総合研究所
 文学部論集 93・94号(平21・22) 佛教大学文学部
- 文教大学国文 38号(平21) 文教大学国文学会
 別府大学国語国文学 50号(平20) 別府大学国語国文学会
 法政大学史資料集 30集(平21) 法政大学
 The News Letter HOSEI HUAS No.10(平21)
 法政大学国際日本学研究所・国際日本学研究センター
 法政大学沖縄文化研究所報 63・64号(平20・21) 法政大学沖縄文化研究所
 琉球の方言 33号(平21) 法政大学沖縄文化研究所
 沖縄文化研究 35号(平21) 法政大学沖縄文化研究所
 法政大学国際日本学研究所研究成果報告集『国際日本学』
 6・7号(平21) 法政大学国際日本学研究センター
 The Newsletter HOSEI HUAS No.11(平20)
 法政大学国際日本学研究センター・国際日本学研究所
 日本文学誌要 74・75・77・78・79・80号(平18・21) 法政大学国文学会
 そとより通信 49・50・52・54号(平18・21) 法政大学国文学会
 法政史学 71・72号(平21) 法政大学国文学会
 法政大学大学院紀要 62・63・64号(平21・22) 法政大学史学会
 法政大学文学部紀要 58・60号(平21・22) 法政大学大学院
 法政大学文学部紀要総目次(創刊号・60号)(平22) 法政大学文学部
 国語国文研究 135・137号(平21・22) 法政大学文学部

北海道大学国語国文学会

演劇映像 50号(平21)

日本文学ノート44号(平21) 宮城学院女子大学日本文学会

早稲田大学文学学術院演劇映像研究室

武蔵野大学能楽資料センター紀要 20号(平21)

武蔵野大学能楽資料センター

立教大学大学院 日本文学論叢 9号(平21)

立教大学大学院文学研究科日本文学専攻

立教大学日本文学102・103号(平21)

立教大学日本文学会

第1回日本文化デジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジ

ウム(CD)(平21)

立命館大学

アート・リサーチ Vol.9(平21)

立命館大学アート・リサーチセンター

國文學論叢 55輯(平22)

龍谷大學國文學會

東西南北 和光大学総合文化研究所年報

2009・2010(平21・22)和光大学総合文化研究所

演劇博物館グローバルCOE紀要 演劇映像学 2007

報告集1・2(平21)

早稲田大学演劇博物館グローバル

COEプログラム「演劇・映像の国際的教育研究拠点」

News Letter 5・6号(平21)

早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム

「演劇・映像の国際的教育研究拠点」

国文学研究 157～159集(平21)

早稲田大学国文学会

演劇研究 32号(平21)

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

演劇博物館 101(平21)

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館